

【記入要領】

- A 建築物の所有者の会社名、住所、氏名、電話番号を記入してください。
- B 建築物の管理者の会社名、住所、氏名、電話番号を記入してください。
- C 建築物の名称を記載してください。同一敷地内でも別棟の場合は、それぞれ別の調査表に記入してください。
- D 建築物の所在地を記入してください。
- E 建築物の主要な用途を記入してください。
- F 建築物の延べ床面積を記入してください。
- G S(鉄骨造)、RC(鉄筋コンクリート造)、その他(左記のいずれにも該当しない場合)に分類して記入してください。
2以上の異なった構造の場合は、「鉄筋コンクリート造一部鉄骨造」等と記入して下さい
- H 建築物の竣工年月を記載してください。
- I 吹付けアスベスト等の使用箇所(室名など)を、使用面積の多い順に具体的に記入してください。
また、同じ建築物内で複数の部屋等で使用がされている場合には、部屋などの別に応じて別の列に記入してください。
- J 吹付けアスベスト等を使用している部位(梁、天井、壁等)を具体的に記入してください(同一室内で複数箇所ある場合は、全て記入してください)。
- K 吹付けアスベスト等を使用している見付け面積を記入してください(同一室内で複数の使用箇所がある場合は、使用面積の合計を記入してください)。
- L 吹付けアスベスト等の建材の種類を次により記入してください。
「石綿」:石綿(アスベスト) 「岩綿」:アスベスト含有ロックウール 「その他」:アスベストを含有するその他の吹付け材 「断熱材」:折板裏打ち石綿断熱材
- M 吹付けアスベスト等の露出状況について、「露出」「未露出」のいずれかを記入してください。
※未露出とは、「建築時に天井裏等に吹き付けられたもの」及び「過去にアスベストの囲い込み工事を行った」等により、室内に露出していないものをいいます。
- N 吹付けアスベスト等の現在の状況について、A、B、Cのいずれかを記入してください。
- A: 吹付け材全面にわたって表面が荒れ、はく離した形跡がある。又は、囲い込み材が全体的に損傷している。
B: 吹付け材の表面が部分的に荒れ、はく離した形跡がある。又は、囲い込み材が部分的に損傷している。
C: 吹付け材の表面が安定しており、劣化も進んでいない。又は、囲い込み材に全く損傷が見られない。
- O 使用箇所の利用頻度について、「高い」「低い」のいずれかを次により判断し、記入してください。
○利用頻度が「高い」とは、人の出入りが多い場所や常時使用する場所(病室、教室、事務室、店舗、会議室、廊下、階段、給湯室等)又は常駐する者がいる場所を言います。
○利用頻度が「低い」とは、倉庫、機械室、電気室、非常階段等で、その場所に常駐する者がいない場合を言います。
- P これまで行ったアスベストの飛散防止措置の状況について、除去した場合は「除去」、封じ込めの場合は「封込」、囲い込みの場合は「囲込」と記入し、対策を講じた年月日を記入してください。
○「除去」:吹き付けアスベスト等の吹き付け層を下地から除去する場合
○「封込」:既存の吹付けアスベスト等の吹き付け層をそのまま残し、吹き付け層への薬剤の含浸または造膜材等を施すことで、吹き付け層を被覆もしくは固定化することにより、アスベスト繊維の飛散を防止する場合
○「囲込」:既存のアスベスト等の吹き付け層はそのまま残し、吹き付け層が室内に露出しないよう、板状の建材で完全に覆う(囲い込む)ことにより、アスベスト繊維の飛散防止と損傷防止を図る場合
- Q アスベストの飛散防止措置を講ずるまでの当面の対応(室の使用停止など)を記入してください。
- R 既に吹付けアスベスト等の飛散防止措置(工事)を講じた場合の完了年月日を記入してください。
- S 工事を施工した業者名を記入してください。
- T 工事施工の際に大気中のアスベスト濃度測定を行った場合の調査結果を記入してください。
- U 廃棄物収集運搬業者名を記入してください。
- V 最終的な廃棄物処分業者名を記入してください。
- W 今後のアスベストの飛散防止措置の予定(アスベストの飛散防止措置を講じる年度及び飛散防止措置:Pを参照)を記入してください。
- X 点検周期について、「6ヵ月毎」、「3ヵ月毎」等の区分ごとに記入してください。
- Y 点検内容について、「目視」、「大気中のアスベスト濃度測定」と記入してください。